

平成 27 年度 第 1 回磐田市総合教育会議 会議録

日 時 平成 27 年 5 月 27 日 (水) 午後 4 時～午後 5 時

会 場 磐田市役所 西庁舎 3 階 特別会議室

出席者 市長、教育長、杉本憲司委員、青島美子委員、田中さゆり委員、秋元富敏委員
(出席者 6 名)

事務局 企画部長、教育部長、秘書政策課長、教育総務課長
秘書政策課政策推進グループ長、同課同グループ主査、
教育総務課児童・総務グループ長、同課同グループ主任

傍聴者 1 名 (報道機関 1 名)

[会議次第]

- 1 開会
- 2 市長あいさつ
- 3 委員紹介
- 4 議事
 - (1) 総合教育会議の運営方法等について
 - (2) 磐田市教育大綱の策定について
 - (3) その他
- 5 閉会

[審議の主な内容]

議題1 「総合教育会議の運営方法等について」(事務局説明)

市長 原則的な運営についての説明です。ご意見・質問がありましたら、確認の意味も含めてお願いします。

市長 質問がないようですので、次に議題の2 「磐田市教育大綱について」を議題とします。

(事務局説明)

市長 法改正により総合教育会議を設置、大綱の策定もどこの自治体でも行うことだが、会議にあたりいろいろ調べたところ、磐田市の教育は間違いなく進んでいると思っている。常に進めていることを含めて、大綱策定についてのご意見、ご質問があればお願いしたい。

教育長 大綱のイメージについて、教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策と書かれている。総合的な施策の大綱の意味合いを事務局はどう捉えているか。

事務局 国からは、詳細な施策について定めることを求められていない。磐田市の目標、施策の根本的な方針を定めるとしているため、大綱では目標や大きな方針を定めていただき、詳細は教育委員会で大綱の方針、目標を踏まえて施策を展開していただければと考えます。

市長 市民の誰が聞いてもわかるような方針、骨格だと考える。
磐田は教育委員会の中で、既に進めていただいていることも多いですが、5年前後を目安に骨格を作らなくてはいけないため、ご意見をお願いします。

委員 大きな目標でいいということですので、「磐田の教育道しるべ」と「こども憲章」の中から取り上げて目標を掲げてはどうか。

市長 いままでやってきた「道しるべ」や「こども憲章」をまとめる形、集大成になるかと思いますが、事務局はどう考えていますか。

事務局 今、いくつかの案を検討しています。次回6月30日の会議では大綱の素案をご用意する予定ですので、もう少し事務局で詰めさせていただきたい。

市長 こういうものを柱としたいなど、思いがありましたら、ご意見をお願いします。先ほど「道しるべ」「こども憲章」が出ましたが、他にこういう骨格も

大事であるなどを伝えておきたいことはありませんか。

委員 学校教育だけでなく、それを支える子どもたちを取り巻く地域の環境、家庭の問題など、いろいろな問題に立ち向かうべく、すべてを結集していくことが求められている。自治会運営も大変になってきていることを考えると、コミュニティ・スクールの導入は必然性があると捉えている。教育委員会の示した「道しるべ」と市民の皆さんで練り上げた「こども憲章」を含める方法はいいとして、憲章と教育目標をきちっと精査して、その中から築き上げていくことに抛り、これからの地域の教育課題を網羅できていくものと考えている。

委員 「道しるべ」は子どもたちがこうあってほしいという思いと同時に、保護者にも必要であるという文言もたくさんあります。大綱は他人事ではなく、保護者や地域の人たちも当事者意識を持てるものとしたい。

委員 スポーツ少年団の指導を行っていて、一番感じているのは、自分で考えてプレーする子どもが少なくなっているということです。指導者が言ったことは忠実に言い、挨拶、行動も礼儀正しいのですが、自分の気持ちで行動できるのか。ケースバイケースで応用力をもって動けるのか。考える力を教えなければいけないのかなと思います。

教育長 磐田市はこれまで、本当に子どもたちが大事ということを「道しるべ」「こども憲章」に具体的に書き表してきたと思っています。総合的な施策についてはいろいろな意見があると思いますが、磐田市は一步踏み込んだものを策定できれば考えます。

委員 重要なのは、子どもたちに将来どうなってもらいたいかを最大の目標に置いて、そこにいくための道しるべをつけていくことだと常々思っている。

委員 磐田市教育委員会の教育目標は「ふるさとを愛し、未来をひらく、心豊かな磐田市民」。子どもたちが夢、志、あこがれ、目標を自分で意識することで、たくましく進んでいける。これが「生きる力」となると考える。「磐田の教育目標」のなかの“未来をひらく”の部分の議論を深めたい。

委員 行政などによる子育て支援が充実しても、第一義的責任は保護者にある、子育ては親がしなければいけないことであるという軸はブレてはいけない。それが一番大切であるということは盛り込んだものとしたい。

委員 自立する力、社会に出て自分の力で生きていく力が必要であり、自立をどういう形で促していくか。そのような気持ちにさせることがポイントだと思

う。

市長

学校教育だけで解決する問題ではなくなっている。
地域のまちづくり協議会で地域の子どもたちをどのように育んでいくかということも大きな柱となってくると思う。

本日は初回ですので、思いついたことがあれば、事務局に意見を出してほしい。

他に意見がないようですので、本日の議事はこれにて終了したいと思います。ありがとうございました。今後ともよろしく願いいたします。